



ヨゼフ・アベイヤ司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 山元 眞
カトリック福岡教区
編集人 山元 眞
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡教区
定価 1部70円

8・9月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【教皇の意向】(8月) ワールドユースデー
(9月) 周辺に追いやられて生活する人々
【日本の教会】(8月) 核兵器廃絶
(9月) すべての被造物

日本カトリック平和旬間 8月6日〜15日
憲法9条から平和を考える

九州大学法学部教授 南野 森(西新教会)

日本カトリック平和旬間にあたり、戦争の放棄を謳っている日本国憲法を改めて確認しておく必要があるのではないか。憲法9条は戦争放棄を定めた条文である。また、武力による威嚇も、その行使も国際紛争を解決する手段として永久にこれを放棄すると明言されている。国の交戦権も認めていない。「力には力で」という負の連鎖を、対話と愛による繋がりに変えていくことはできないのか。憲法学者の南野森氏(西新教会信徒)に寄稿をお願いした。



南野 森さん

憲法9条はもはや「死に体」ではないか。安倍内閣は集団的自衛権についての解釈を強引に変更したし、「武器輸出三原則」も「防衛整備等移転三原則」へと改めた。岸田内閣は「反撃能力」の名で自衛隊の「敵基地攻撃能力」の向上を推進し、5年後には防衛費をGDPの2%に倍増するという。いったい、憲法の平和主義は何処へいったのか。来年初立70年となる自衛隊は、海外の紛争地にも諸外国の軍隊とともに派遣されてきたし、防衛費が世界2位になったこともある。そんな日本の「実力組織」が軍隊でな

いというの、なかなか理解し難い話でもあるだろう。やはり改憲し、正面から自衛隊を明記して統制した方が良いのではないか。そう言いたくなる気持ちもよくわかる。改憲に執念を燃やし続けた安倍首相は、憲法施行70年にあたる2017年の憲法記念日に、突如、9条の1項と2項は現状のままにして、その隣に自衛隊を明記する条文を置くという「9条加憲論」を主張し、オリンピックが東京で開催される(はずであった)2020年を新憲法施行の年にしたいと表明した。憲法に自衛隊を明記しても「何も変

わらない」とも強調した。しかし、以上の話はいずれもそのまま受け止めるわけにはいかない。たしかに9条と現実の乖離は広がる一方ではあるが、かといって、現実を追認するために9条を改正するかどうか。これまで9条の下で実力組織を作り、強大化してきた人々が、新しい9条に従って自衛隊をきちんと制御すると信じている人が良すぎる。新たな9条のもとで、現実との乖離が再び進んでいく可能性のほうが大きいだろう。9条に自衛隊が明記されてい

ないからこそ、それぞれの戦力不保持が定められているか戦力不保持が定められていないからこそ、それぞれが日本独特とも言えるものであり、憲法学者のなかにも多様な見解がある。単純な解決方法が簡単に見つかる状況ではないが、それだけに、単純な言説には注意しつつ、一人ひとりがこの国の将来について、じっくり考えることが必要であるように思う。

訃報
ペトロ平山 高明名誉司教(大分教区)
2023年7月15日(土)、老衰のため、明野司教の家にて帰天。享年99。
【略歴】
1924年3月31日ソウルに生まれる
1957年3月 福岡教区にて司教叙階
1957年4月 福岡司教館勤務(学生指導担当)
1958年8月 大名町教会助任
1960年1月〜 フランス留学
1962年10月 帰国後、福岡教区司教館、小倉教会助任、健康教会主任
1969年11月 大分教区司教に任命
1970年1月 司教叙階
2000年6月 大分教区長引退
2008年6月〜 ローマ、日本のためのレデンプトリス・マーテル神学院長に任命
2017年6月 帰国後、明野司教の家で過ごす

福岡教区主催 平和を祈る集い
8月11日(金・祝)カテドラル大名町教会
【午前の部 10時30分〜12時】
子どもたちによる作文発表会「平和への思い」
【午後の部 13時〜16時30分】
講演会「軍隊を持たない国」
コスタリカ共和国
講師：足立力也氏
平和祈願 インターナショナル・ミサ
主司式 ヨゼフ・アベイヤ司教
※ライブ配信有り
※詳細は教区HPか上記QRコードから。

食といのち 講演と対談
「食は人をつなぐ いのちをつなぐ!」
講師：伊藤幸史神父・信州風の家 主宰
(新潟教区 糸魚川教会主任)
対談：吉田俊雄・小さな森イスキア 主宰
(大名町教会 信徒会長)
日時：9月18日(月・祝)
14時〜16時
場所：カテドラル大名町教会
参加費：無料 ※詳細は教区HPかQRコードから。

昨年(2022年)の復活祭に「福岡教区宣教司牧方針」が発表されました。それからもう一年半が経ちました。忘れてはいけな

9月からは休刊です。9月からNHK文化センター(オンライン講座)で、南野さんの講座「いま、憲法とは何かを考える(全6回)」が開講されます。詳細は左記QRコードからご確認ください。

新型コロナウイルス感染症の感染が収まってきている中で、各小教区で活動が再開されています。喜びをもって教会で集い、希望をもって今までの活動や新しい企画に取り組んでいきたいと思います。

近所に運動公園がある。多目的グラウンド、野球場、テニスコート、広い芝生広場があり、その周囲に1.2キロのジョギングコースが整備されている。ある週末の午前中、園内で活動する人々を眺めながらコースをウォーキングした。多目的グラウンドにはサッカー試合をする複数の小学生グループと指導者や応援する家族。野球場では若者たちの野球試合。テニスコートからは女子高生生の掛け声。広い芝生や子ども広場では、幼児と遊ぶ若い両親の笑い声。コースでは、ゆっく

り、日本独特とも言えるものであり、憲法学者のなかにも多様な見解がある。単純な解決方法が簡単に見つかる状況ではないが、それだけに、単純な言説には注意しつつ、一人ひとりがこの国の将来について、じっくり考えることが必要であるように思う。

9月からは休刊です。9月からNHK文化センター(オンライン講座)で、南野さんの講座「いま、憲法とは何かを考える(全6回)」が開講されます。詳細は左記QRコードからご確認ください。

新型コロナウイルス感染症の感染が収まってきている中で、各小教区で活動が再開されています。喜びをもって教会で集い、希望をもって今までの活動や新しい企画に取り組んでいきたいと思います。

近所に運動公園がある。多目的グラウンド、野球場、テニスコート、広い芝生広場があり、その周囲に1.2キロのジョギングコースが整備されている。ある週末の午前中、園内で活動する人々を眺めながらコースをウォーキングした。多目的グラウンドにはサッカー試合をする複数の小学生グループと指導者や応援する家族。野球場では若者たちの野球試合。テニスコートからは女子高生生の掛け声。広い芝生や子ども広場では、幼児と遊ぶ若い両親の笑い声。コースでは、ゆっく

私は、昭和20年8月9日、長崎市に落とされた原子爆弾の被災者の一人です。当時2歳で被爆の記憶は全くないので、被爆体験者として語ることはできません。が、「平和」を希求する者の一人として、つづつとしたいと思います。

器のない世界を構築するため先に立って恒久平和の実現にあたらなければならぬのではないのでしょうか。平和について考えるとき、キリスト信者として80年生きてきた私が、自信をもって唯一言えることは、人類の平和実現のために自分の命をささげて、私たちが永遠のいのちへと導かれたイエス様に、平和の実現は難しいのではないかと感じています。

と思います。自分にとって、また、自分の小教区にとって参考になることと思います。また、さまざまな集い(司教の集い、地区の宣教司牧評議会の集い、色んなグループや委員会の集まり等)の中でお互いに具体的な例を紹介し合ったら、励ましになるに違いありません。

近所に運動公園がある。多目的グラウンド、野球場、テニスコート、広い芝生広場があり、その周囲に1.2キロのジョギングコースが整備されている。ある週末の午前中、園内で活動する人々を眺めながらコースをウォーキングした。多目的グラウンドにはサッカー試合をする複数の小学生グループと指導者や応援する家族。野球場では若者たちの野球試合。テニスコートからは女子高生生の掛け声。広い芝生や子ども広場では、幼児と遊ぶ若い両親の笑い声。コースでは、ゆっく

福岡教区のアプリができました。スマートフォンで教区情報を簡単に得ることができます。詳細は教区ホームページでご確認ください。

福岡教区宣教司牧方針を受けて

2022年4月、福岡教区の「宣教司牧方針」が発表されました。教区報では、「宣教司牧方針」を受け、各小教区や団体で取り組んでいること、心がけていることなどについて、具体的な活動を紹介しています。「宣教司牧方針」は右記QRコードからご覧になれます



ともに向いてくださるみなさまへ ~感謝を込めて贈りたい~

今年もひまわりが修道院のお庭に沢山咲いています。信徒の方から頂いた種が毎年子孫を残し、行き交う人々の心を元気づけています。昨年、ウクライナへの祈りを込めて「ひまわり（ウクライナの国花）Cafe」が大町教会で開かれ、私たちのひまわりも招かれました。また、私たちと共に暮らしている困難を抱えた子どもたちが、お友達と外で遊べない状況の中で、種を植えて成長を喜ぶことができました。1年経った今も戦争が続いている現実を直視しながらも、日々の皆様の優しさの実践が心にしみ入ります。



礼拝会の庭園でマリアさまと共にお迎えします

私たちも、朝から晩まで沢山の種に出会います。聖書のみ言葉、電話から聞こえてくる叫び、メールの文字、LINEで送られてくる写真、また目の前の女性の涙だったり、祈りの時に響いてくる気づきだったり……。形は様々だけど全て心に落ちては私たちの中で成長し、行動へと駆り立てます。宣教司牧方針も福岡教区民の皆で創りました。それは一人ひとりの召命という種が生き活きと開花し、教会という花束を祭壇に捧げるための花器（道具）のようなものかもしれません。今年はその第一の柱「出向いていく教会」となる。弱い立場に置かれている人々と共にあゆみ、福音を証しし、伝える」の実現が勧められています。典礼、社会的同伴のグループ、学び、祈り、広報 etc 様々な具体的な現場から、共に歩み、福音を伝える工夫と刷新の音が聞こえてきます。私の弱さの中におられるキリストと共に歩んで下さる皆様へ感謝を表したいです。祈りのうちに育ったひまわり、百日草を贈ります。お近くにお越しの際はお立ち寄りください。

礼拝会 院長 Sr.藤田 優香

①小教区分担金（3、633万円）は、昨年より52万円ほど増加しています。コロナ禍で減少したものが少し回復していると思います

が、経年では減少傾向と考えられます。福岡教区のハンドブックに書いてあるように、個人収入のある方は、同居でも別世帯として維持費を納めてくださるよう、もつとお願

いする必要があります。②教区の司祭養成費と大神学院分担金を差し引いた宗教活動費は10,334万円内

人件費・5,165万円、管理費・2,249万円）です。主な収入である分担金（3,700万円）と諸寄付金（2,329万円）は6,029万円であり、4,300万円以上のマイナスとなり、この状況が教区財政では継続している現状です。

③カテドラル献金については、本年度は82万円と、2021年度の67万円より増えました。

④教区本部会計の経常収支として、資産運用収入が大きな支えとなっています。経済問題評議会の皆様の協力、また円安の状況もあり、今年度は12,226万円となり、例年より5千万円以上増えています。今後は小教区・墓地などの繰越資金合計22億円より、3千万円ほどを目標に運用できればと考えています。

⑤特別献金をお願いしています。「福岡教区被災者支援募金」「カテドラル献金」などです。日頃の協力を感謝いたします。これから心にとめて、協力を願っています。被災者支援献金は826万の残高となっています。

福岡教区 本部会計 2022年度会計報告

Table with 3 columns: 科目, R4年度決算, 説明. It lists various income items such as religious activities, donations, and subsidies.

Table with 2 columns: 2022年度特別献金, 献金額. It lists specific special contributions like 'World Children's Day' and 'Ukraine Relief'.

Table with 3 columns: 科目, R4年度決算, 説明. It lists various expense items such as religious activities, salaries, and administrative costs.

聖信の恵みの喜びに包まれて 唐津教会で5年ぶりに聖信式



筑後地区宣教司牧評議会の皆さん

二日市、小郡、久留米、今村、本郷、大牟田の6つの小教区、唐津教会は聖信の秘跡の恵みを受けた8人の信徒と大きな喜びを共にした。当小教区にとっては2018年以来となる聖信式で、素晴らしい天気にも恵まれ、80人位の参列者を迎えて、ヨゼフ・アベイヤ司教の司式で執り行われた。式が始まると、受堅者たちは少し緊張した面持ちであったが、司教のわかりやすい話に安心した様子であった。聖書の最後の授与があり、受堅者代表の挨拶と、司教から祝いの言葉が贈られた。聖信式のミサの後に行われた懇談会では、打ち解けた雰囲気の中で、司教と交わりの時間を過ごすことができた。その後、司教をはじめ、受堅者、保護者、代父母、その他の関係者たち大勢が食事を共にして祝った。

筑後地区宣教司牧評議会

の代表者が、互いの活動報告も兼ねて集まっています。6月11日の会議では、8月3日の子どもたちのサマーキャンプ事業と9月18日のレクリエーション大会も兼ねた敬老のお祝いイベントについて、企画内容や運営方法を話し合いました。それぞれの教会の現状報告および今後の計画、教区の動きの報告などもなされ、とても有意義な時間となりました。筑後地区宣教司牧評議会広報 久留米教会 向江英子

計報



聖信の秘跡に与り、晴れやかな表情の受堅者たちとともに

ベルティラ 沖三好 修道女 (カノッサ修道女会) 7月1日帰天。享年86。修道生活60年でした。タルシア 吉岡 サカ工修道女 (聖母訪問会) 7月23日帰天。享年96。修道生活68年でした。

よるしくお願いいたします。教区本部の経済は資産運用に支えられています。経済問題評議員の方々の協力によるものです。心から感謝申し上げます。文責 青木悟神父 (教区本部会計)

サンパウロ 福岡宣教センター. 営業時間: 10:00~18:00. 定休日: 日曜日・祝日. 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26. Tel. 092-721-2032 / Fax. 092-739-3930. E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

不動産全般/売買・賃貸・管理. ほんでもお問い合わせください. (株)ジャパン・スマイルか. 代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子. 〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号. TEL 092-761-8800. http://www.iruka-japan.com/

総合建築業. 一般住宅(新築・改築工事)・鉄骨工事・RC工事. 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください. 有限会社 森山工務店. ヨゼフ 森山新太郎. 福岡市早良区四箇1丁目15番28号. ☎(092) 811-7265

別れ・出逢い・旅立ち. 草苑 (SOU-EN). カトリックのご葬儀. 互助会制度もご利用できます. 木下株式会社. TEL 092-526-5656. 〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

知りたい！
福岡教区内の
修道会
宣教会⑬

福岡教区には現在30の修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。昨春より紹介している、その修道会や宣教会。第16回は、聖ザベリオ宣教会です。

聖ザベリオ宣教会



聖ガイド司教と聖ザビエル

聖ザベリオ宣教会は、1895年に聖ガイド・マリア・コンフォルティ司教によってイタリアで創立された宣教会です。1549年来日した聖フランシスコ・ザビエルの宣教活動を手本として、全世界をキリストの名によって一つの家族、神の家族にすることを目指して、現在20ヶ国で福音宣教に励んでいます。

日本での宣教の始まりは1949年12月。3名の会員が初来日し、大阪の岸和田教会を中心にその周辺地域に新しい共同体を次々作り活動を広げつつ、1950年3月には福岡教区長ドミニコ深堀仙右衛門司教の願いに応じて九州地区での活動を始めました。その後1958年には鹿児島教区長ヨセフ里脇浅次郎司教の要望に応え、大隅地区での宣教も始めました。

日本宣教から70有余年、派遣された宣教師は100名を超え、現在は30数名の会員が、管区本部のある大阪、福岡、大分、鹿児島各教区で、司牧と宣教活動のほか、幼稚園をはじめとする教育、諸宗教対話、文化研究、芸術の分野などにも携わり、福音宣教の使命を果たすため、信徒の皆様と交流を深めながら、協力して活動しています。

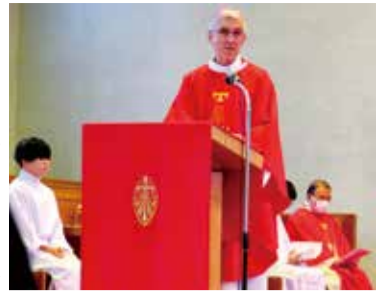
福岡教区では、1987年に「黙想と祈りの家」と諸宗教との対話と交流の場として「真命山」を開山しました。また2004年からは熊本地区の宣教司牧にさらに力を注ぐため新たに会員を派遣しました。現在も6名の司祭が司牧と宣教活動のため、喜びのうちに意欲的に働いています。

ザベリオ会のカリスマであり、唯一の目的である「福音宣教によって、すべての人々が神の愛を知り、主イエス・キリストのもとに一つの家族として集うこと」を願いつつ、皆様とともに歩んでまいります。

玉名・荒尾教会 主任 クラウディオ・コデノッティ神父

区内の小教区や幼稚園・学校・諸施設などへの協力も依頼。同時に諸宗教との連携を図りたいと福岡市仏教会にも呼び掛けをさせていただき、快く協力をお願いしたことには感謝でした。また、時ならぬ鐘の音のために近隣のホテル、ビルなどの了承も得てのスタートでした。昨年2月のロシアによるウクライナ侵襲後は、ウクライナ国旗を掲げて平和への祈りも重

2023年7月1日(土)、福者ベトロ岐部司祭と同志殉教者の記念日に、福岡カトリック神学院聖堂を会場に福岡コレジオ10周年の記念ミサが捧げられた。主司式は中村倫明長崎大司教、説教はヨゼフ・アベイヤ福岡司教。歴代の養成担当者、かかわりのあった修道士やコレジオ生の家族、大神学院職員等が祭壇を囲んだ。参加できなかった関係者や長崎の観想修道会からも、心を合わせて祈っているとのメッセージが寄せられた。



自身の経験からエールを送る司教

カトリック長崎教会管区司祭志願院
福岡コレジオ10周年記念ミサ

福岡コレジオは、2013年4月、福岡市中央区浄水通に、旧幼きイエス会福岡修道院を譲り受け開校。大神学生の減少に伴い、一つ屋根の下の二つの共同体をうたって2022年4月に大神学院内に移転した。前身は1998年4月、長崎市大浦に開設された長崎コレジオで、コレジオとしては25周年を迎えたことになる。

アベイヤ司教は説教の中で、小神学生時代に、ある神学院の養成者と神学生が全員殉教した物語を、唯一の生存者から直接聞いたこと、それがどれほど自分の心を燃やしたかを紹介。キリストとの約束を果たすために、貧しい人や病気の人の友として生きた親子の殉教物語を例に、188福者殉教者の物語がどれほど心を燃やすはずであるかを訴えた。

2020年5月15日から毎週金曜日の午後2時に鳴らしてきた感謝の鐘は、新型コロナウイルスの5類移行を受け



季節ごとにフラワーボックスの花々も賛同

コロナは消えていない
鐘を鳴らした日々を忘れないで

コレジオとは、小神学院を卒業し、あるいは社会人を経て、または外国から来て、大神学院入学を準備する人のための司祭志願院を指す。小神学院でも大神学院でもない

め、キリシタン時代に神学院を意味して用いられていた「コレジオ」の名をいただいている。福岡コレジオ院長 嘉松宏樹神父



説教を譲り合う山頭神父(左)と森山司教(右)
中:寺浜亮司神父(吉塚・南粕屋教会主任司祭)

吉塚教会 山頭神父司祭叙階70周年
お祝いに森山司教も駆けつける

「吉塚教会へいつもミサに来てくださる山頭原太郎神父様が、今年司祭叙階70周年を

「吉塚教会へいつもミサに来てくださる山頭原太郎神父様が、今年司祭叙階70周年を



お祝いのケーキに大喜び

「吉塚教会へいつもミサに来てくださる山頭原太郎神父様が、今年司祭叙階70周年を

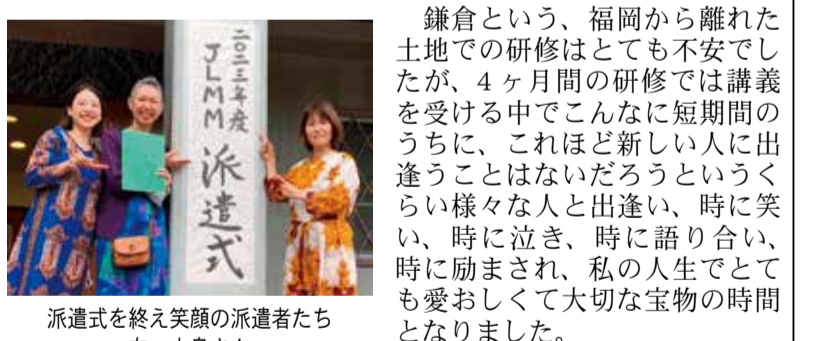
ねて響かせました。約2分間とはいえ3年間を振り返ると、合計156回の鐘の音が線となり面となって広がり、地域に溶け込んでいったと感じられます。

鐘を打ち始めた頃、建築中だったホテル、リッツ・カールトンの建設現場では作業員の人たちも一緒に拍手を送ってくれました。バス停に停まったバスの中から、また通りが

キリストの使命を生きるために〜カンボジア信徒派遣
久留米教会 中島 愛

私は約10年前に参加した九州青年キャンプでJLMM (Japan Lay Missionary Movement) について知りました。「私も海外に行ってみよう!」。そういう思いで、2019年にJLMM 派遣候補者の試験を受け合格していましたが、新型コロナウイルス感染症に伴い派遣は延期となりました。感染拡大が落ち着くことを願いながら2021年にはオンライン研修、2022年にはフォローアップ研修を受講し、そして2023年4月より鎌倉の研修所で共同生活を送りながらの研修を終え、いよいよ今年8月にカンボジアに派遣されることが決定しました。

振り返れば長い待機期間でしたが、その間、家族や友人とゆっくりした時間を過ごせたり、「神様が求めていることは何か」と自己の召命を見つめたりすることができました。



派遣式を終え笑顔の派遣者たち
左:中島さん

鎌倉という、福岡から離れた土地での研修はとても不安でしたが、4ヶ月間の研修では講義を受ける中でこんなに短期間のうちに、これほど新しい人に出逢うことはないだろうというくらい様々な人と出逢い、時に笑い、時に泣き、時に語り合い、時に励まされ、私の人生でとても愛おしくて大切な宝物の時間となりました。

カンボジアでは半年間プノンペンで語学研修の後、シェムリアップにある幼稚園や周辺の教会施設で2年間の活動予定です。言葉や習慣など何もかも違う土地で不安もありますが、神様が私に与えてくださったミッションを全うできるように、常に神様の声を聴きながら、新しく出逢う人々とともに生きていきたいと思ひます。※JLMMは右記QRコードからご覧ください。

「聖性」というカトリック信仰の到達点に、いかにして近づけるのか。「神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者:にしよう」と、キリストにおいてお選びになりました(エペソソ1:4)。このみ言葉が語る霊的祝福を生きたためのヒントが詰まったエッセイ集。 税込価格1320円

BOOK 読みは専科 聖性への道のり 越前喜六(編著)

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 聖マリアヘルスケアセンター

FPO 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

年間目標 出向いて行く教会となる

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：聖性への招き
日 時：9月14日(木) 10時～15時 (8月は休み)
内 容：コルカタの聖テレサ
指 導 者：Sr.マリア・デ・ジョルジ(マリア布教修道女会)
次 回：10月12日(木)
内 容：幼きイエスの聖テレサ
指 導 者：C.クラウディオ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX)0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

【レジオマリエ福岡クリア】平和旬間・いのり会

【日 時】8月6日(日) 14時～14時半 聖体賛美式
聖体礼拝 18時まで *自由にご参加ください。
【場 所】大濠カトリック会館・宣教養成センター
【問合せ先】TEL 090・9568・0076 (野川)

【福岡地区カトリック女性の会】聖モニカ祭

【日 時】8月26日(土) 13時～15時
【場 所】カテドラル大名町教会 大聖堂
【感謝ミサ・追悼式】司式：ヨゼフ・アベイヤ司教
【問合わせ先】福岡地区各教会の女性の会委員

【水俣フォーラム プレイベント】

水俣病問題からの考察～教皇フランシスコの『回勅ラウダート・シ』が人類に語りかけるもの
【日 時】9月16日(土) 14時～16時
【場 所】カテドラル大名町教会 1階講堂
【講 師】瀬本正之神父(イエズス会)『回勅ラウダート・シ』翻訳者 吉永理巳子(水俣病患者)
【問合わせ先】TEL 090・6775・4268 (青木)

【聖テレジア生誕 150周年】記念講演 — テレーズのように宣教する —

【日 時】10月1日(日) 13時～15時
【場 所】カテドラル大名町教会 1階講堂
【講 師】中川 博道 神父
(カルメル会男子修道会・宇治修道院 院長)
【問合わせ先】TEL 080・5270・2657 (濱崎)

Together -ともに歩もう-～テゼ共同体の歌と共に～教皇フランシスコの呼び掛けに応えよう！世界代表司教会議(シノドス)に向けたキリスト諸教派と共に祈る集い

【日 時】10月1日(日) 17:30-18:30
【場 所】カテドラル大名町教会 大講堂
【問合わせ先】TEL 092・581・0570 (光丘教会：十時神父)

— 定例会 —

- 社会福音ネットワーク福岡
8月5日(土) 14時～ 美野島司牧センター
【問合せ先】☎090・6775・4268 青木
■福岡テナクム
8月23日(水)、9月20日(水) 10時～ 大楠教会
【問合せ先】☎090・5021・5907 菊池
■福岡ホスピスの会・「ぬくみカフェ」
8月26日(土)、9月23日(土) 14時～ サンパウロ福岡
【問合せ先】☎090・1162・6395 柴田
■在世フランシスコ会
9月9日(土) 9時～ 高宮教会
【問合せ先】☎080・5266・9048 秦
■師イエス祈り会
9月15日(金) 10時ミサ後 高宮教会
【問合せ先】☎090・7468・3631 西田
■聖霊による刷新・福岡祈りの集い
毎週月曜日 11時～12時30分 大名町教会1階講堂
【問合せ先】☎092・521・2503 蓮尾
■聖霊による刷新・小倉祈りの集い
8月25日(金)、9月29日(金) 13時30分～15時 小倉教会
【問合せ先】☎090・3985・5209 松田
■みことばのお弁当
10時～13時 大濠カトリック会館 ☎092・753・6765
8月24日(木)「み国が来ますように」
9月28日(木)「み心が天に行われるように」

— 召命を祈る集い —

- 福岡地区 9月19日(火) 13時30分～ 大名町教会
【問合せ先】☎092・921・4532 山口
北九州地区 8月17日(木) 14時～ 小倉教会
【問合せ先】☎0949・24・9905 藤井
熊本地区 9月11日(月) 9時50分～ 手取教会
【問合せ先】☎0969・79・0015
大江・崎津・本渡教会主任、浦川務神父

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

9月のこよみ

案内板

会舎と催し

8月のこよみ

- 1日(金) すべてのいのちを守るための月間(10月4日まで)
3日(日) 年間第22主日 被造物を大切に祈る世界祈願日
今村・本郷教会司牧訪問
7日(木) 常任司教委員会(東京)
8日(金) 聖マリアの誕生
9日(土) 宣教司牧方針委員会
10日(日) 年間第23主日 小郡教会司牧訪問
11日(月) ラウダート・シ委員会(東京)(～13日)
14日(木) 十字架称賛
15日(金) 悲しみの聖母
17日(日) 年間第24主日 鳥栖教会司牧訪問
18日(月) 食といのち講演会(大名町教会)
20日(水) 聖アンデレ金と同志殉教者
21日(木) 聖マタイ使徒福音記者 ザベリオ会との集い
23日(土) 聖ピオ(ピエトレルチーナ)司祭
24日(日) 年間第25主日 世界難民移住移動者の日(献金)
教会司牧訪問(訪問先未定)
26日(火) 福岡教区全司祭集會
28日(木) 青年司牧担当司祭の集い
29日(金) 聖ミカエル・聖ガブリエル・聖ラファエル大天使
30日(土) 大阪教区信徒養成(大阪)

- 5日(土) 広島教区平和祈願祭(広島)(～6日)
6日(日) 主の変容 日本カトリック平和旬間(～15日)
8日(火) 聖ドミニコ司祭
9日(水) 長崎大司教区平和祈願祭(長崎)(～10日)
10日(木) 聖ラウレンチオ助祭殉教者
11日(金) 平和を祈る集い(福岡教区主催) 大名町教会
12日(土) FYCC(～13日)
13日(日) 年間第19主日 FYCCミサ(大濠会館)
大名町教会司牧訪問(英語ミサ)
聖マキシミアノ・マリア・コルベ司祭殉教者
15日(火) 聖母の被昇天 和田墓地ミサ
18日(金) 教区顧問会
20日(日) 年間第20主日 光丘教会・堅信式
21日(月) 聖ピオ十世教皇
福岡教区幼児教育連盟研修会(～22日)
22日(火) 天の元后聖マリア
24日(木) 聖バルトロマイ使徒
ラウダート・シ委員会(ZOOM)
26日(土) 福岡地区カトリック女性の会 聖モニカ祭(大名町教会)
27日(日) 年間第21主日 笹丘教会司牧訪問(26日19時～)
28日(月) 聖アウグスチヌス司教教会博士
日本神学会シンポジウム・大神学校(～29日)
29日(火) 洗礼者聖ヨハネの殉教
31日(木) 宗教法人幼稚園理事会

■ゴシックは司教日程

日本カトリック平和旬間 8月6日～15日
すべてのいのちを守るための月間
9月1日～10日4日
◇心を合わせて祈り、日々の歩みを振り返る機会といたしましょう◇

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記
QRコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。

北九州地区宣教司牧評議会
主催 聖書講座・聖書をどう読むか全4回 第2回「物語として聖書を読む」(日時)
9月17日(日) 14時～15時30分(場所)小倉教会(問合せ先)
☎0930・22・0805
行橋・豊津教会主任、下町豊重神父

美野島司牧センター
ホームレスの方に温かい食事と衣類 毎週火曜日10時
ホームレス支援炊出し
調理 第1・第3金曜日14時
夜回り 20時から
路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日14時(問合せ先)☎092・431・1419
コース・マルセル神父
■聖体といやしの家
ご聖体のある家でミサと礼拝のある今を過ごしてみませんか

最近、午後の荒っぽいやつにドキッとします。先日の雷は閃光と爆音が同時で、事務所の電気や司教様のパソコンにも不具合が生じました。そんな折、奉仕活動で一緒している御年85歳の尊敬す

か？必要があればシスターや社会福祉士が同伴できます。(問合せ先)☎080・4735・6971 35・6971 礼拝会
編集後記
お詫びと訂正
教区本部事務局
8月14日(月)～16日(水)

和墓地 開放日と追悼ミサ
開放日：8月13日～15日 10時～15時
追悼ミサ：8月15日(火) 14時～(ミサ後納骨式)
問合せ先：納骨堂委員会 ☎080-2771-6554

「あの日の聖堂の人たちのように」キム・ドゥヤ(笹丘教会)

中等학교 저학년 때 통학로 중간 즈음에 몸집이 작은 저에게는 그 웅장함에 압도될 정도의 큰 성당이 우뚝 서 있었습니다. 그 앞을 지날 때면 언제나 담장 너머 성당 안에 있는 사람들의 온화한 얼굴표정이 저의 시선을 사로잡았습니다. 어린 저에게 마음속 깊은 곳에서 우리나라 질문! "왜 성당 사람들(당시 신자라는 말도 몰랐기 때문에 그렇게 부를 수밖에 없었습니다.)은 모두 표정이 평화로울까?" 그리고 질문 후 "언젠가 나도 성당에 다니고 싶다. 그리고 인생을 마칠 때까지 꼭 성경을 한 번쯤 읽어보자." 는 다짐 아닌 다짐을 했던 그날의 기억이 떠오릅니다. 아마 예수님은 오래전부터 저에게 끊임없이 손을 내밀고 계셨을 것입니다. 그 부르심에 저는 오랜 시간이 지나야 신자라는 이름표를 달게 되었습니다. 그리고 비로소 그때 그들의 표정이 왜 그렇게 평화로웠는지 알 수 있었습니다. "아멘"이라는 생활이 얼마나 큰 은혜와 평화를 가져다 주는지를... 지금 나의 신자로서의 생활은 어떠한가? 그날 나의 걸음을 멈춘 성당 사람들처럼 나 자신도 예수님께 영광과 찬미를 드릴 수 있는 삶을 살고 있는가? 한없이 부족한 저 자신을 매일 겸손하게 돌아보며, 부활의 삶을 허락해 주신 주님께 영광과 찬미를 드리며, 오늘도 주님께 의탁하는 모든 분에게 평화가 함께 하시기를 기도합니다.



「聖堂の人たち」に憧れていた頃の少女のキムさんと現在のキムさん

小学校低学年の頃、通学路の途中に、小柄な私にはその雄大さに圧倒されるほどの大きな大聖堂がそびえ立っていました。その前を通る時、いつも塀の向こうの「聖堂の中にいる人たち」の穏やかな顔が私の視線を釘付けにしていました。幼い私に心の奥底から湧き出した質問!「なぜ聖堂の人たち(当時は信者という言葉も知らなかったで、そう呼ぶしかなかった)は、みんな表情が平和なんだろう?」。そして質問の後「いつか私も聖堂に通いたい。そして、人生を終るまでに必ず聖書を一度は読んでみよう」という誓いではない誓いを立てたあの日の記憶を思い出します。おそらく、イエス様はずっと前から私に絶えず手を差し伸べておられたのでしょ。その呼びかけに私は長い時間が経ってからやっと「信者」という名札をつけるようになりました。そして初めて、あの時の彼らの表情がなぜそんなに平和だったのかが分かったのです。「アーメン」の生活がどれほど大きな恵みと平和をもたらすか...。今、私の信者としての生活はどうだろう?あの日、私の歩みを止めた聖堂の人たちのように、私もイエス様に栄光と賛美を捧げることができる人生を生きているだろうか?限りなく足りない自分自身を毎日へりくだって省み、復活の人生を許して下さった主に栄光と賛美を捧げ、今日も主により頼む全ての方に平安が共にありますようにと祈ります。

福岡教区セクハラ対応窓口
セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金(祝日を除く) 10:00～12:00 13:00～16:00
安心してお話が出来る人をお探しの方へ。
メール: hanahanahimawari2020@gmail.com
☎: 080-4735-6971 (9:00-21:00)
※対応できないときもあります。
※原則1回30分です。
LINE 右記 QRコード
「ふるじえくとHana」
ふるじえくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍している、礼拝会を中心としたグループです。